

## 「2026年(2026学会年度) 日本広告学会研究プロジェクト」募集案内

日本広告学会 研究プロジェクト委員会

研究プロジェクト委員会では「2026年日本広告学会研究プロジェクト」を以下の要領で募集します。会員各位の積極的なご応募を期待しています。

募集テーマ

広告・広報・その他コミュニケーションに関する研究分野のテーマに基づく研究を募集します。

研究プロジェクトの種別

## 1. 自由課題研究プロジェクト(「自由課題」)

テーマを応募者が自由に設定する共同研究です。テーマは自由ですが、昨年の全国大会の統一論題(本募集案内末尾に提示した重点課題)に関わる研究も積極的に受け付けます。2026年は、原則として1件(100万円以内、他の応募状況や審査により助成金額を減額させていただく場合もあります)の研究に助成する予定ですが、応募内容によっては2件採用となる場合もあります。その場合は2件のうち1件は、重点課題に関わる研究を採択時に優先させる予定です。

学会全体の研究水準向上・発展につながる独創性・完成度の高い研究を期待します。

研究期間:①2026年10月頃から着手し、2027年の全国大会で報告する「1年間研究」と、②2026年10月頃から着手し、2028年の全国大会で報告する「2年間研究」の2タイプから、応募時に応募者が選択できます(2タイプは研究期間の違いだけで、助成金総額(100万円以内)は同じです。なお、研究途中で研究期間のタイプ変更はできません)。2年間研究の場合は、2027年9月末に進捗中間報告を提出していただきます。

成果報告:部会での中間報告(60分)、全国大会での発表(60分)をしていただきます。最終的には、「研究プロジェクト報告」(図表含み3万字、20ページ原稿程度)として報告(Web掲載)していただきます。

助成使途:費目による制約があります(詳細は応募用紙参照)。研究期間終了後に、費目別の支出内容を記載した使用明細書(領収書付)を作成していただきます。2年間研究の場合は、2027年9月末に中間の使用明細書(領収書付)を提出していただきます。

## 2. スタートアップ研究30(「スタート30」)

テーマを応募者が自由に設定する研究です。個人研究でも共同研究でも構いません。2026年は、原則として2件程度(1件30万円以内)の研究に助成します。ただし、他の応募状況や審査により助成金額の減額や、助成件数の増減をさせていただく場合があります。

将来的に学会全体の研究水準向上・発展につながる研究を提案してください。

研究期間:2026年10月頃から着手し、2027年の全国大会で報告する「1年間研究」です。

成果報告:部会での中間報告(60分)、全国大会での発表(30分)をしていただきます。最終的には、「研究プロジェクト報告」(図表含み6千字、4ページ原稿程度)として報告(Web掲載)していただきます。

助成使途:費目による若干の制約があります(詳細は応募用紙参照)。費目別の支出内容を記載した使用明細書(領収書付)を作成していただきます。

## 3. スタートアップ研究10(「スタート10」)

テーマを応募者が自由に設定する研究です。個人研究でも共同研究でも構いません。2026年は、最大5件(1件10万円以内)の研究に助成します。ただし、審査により助成金額の減額をさせていただく場合があります。

これから研究領域や研究方法などを確立して行こうとする新しい観点の研究を提案してください。また、新しい研究領域に対するグループでの研究会提案についても応募対象とします。

研究期間:2026年10月頃から着手し、2027年の部会(開催時期は要調整)で報告する「1年間研究」です。

成果報告:部会での発表(60分)をしていただきます。最終的には、「研究プロジェクト報告」(図表含み6千字、4ページ原稿程度)として報告(Web掲載)していただきます。

助成使途:費目による若干の制約があります(詳細は応募用紙参照)。費目別の支出内容を記載した使用明細書(領収書付)を作成していただきます。

## 応募条件

1. 研究代表者が個人正会員であること。
2. 自由課題については、個人正会員か名誉会員2名以上を含む会員主体の共同研究であること。
3. 同一会員が2件以上の応募はできない(応募は1名につき1件とする)。
4. 「2025年1年間研究プロジェクト」、「2025年2年間研究プロジェクト」、または「2024年2年間研究プロジェクト」の参加者を除く。
5. 過年度に採用になった研究プロジェクトに関連し、同様のテーマでスタートアップ研究に多数回応募するのはお控えください。
6. 共同研究メンバーの会員全員が、2025学会年度(2025年10月～2026年9月)および過年度の会費を2026年6月1日までに納入済みであること(申請する際に会員メンバーの会費払込を確認するようにしてください。特に大学事務を通して会費を払われている先生はご注意ください)。
7. 共同研究メンバーに非会員が含まれる場合は2026年秋の全国大会時までに入会を完了すること。

## 応募方法(今年度よりメール添付での応募に変更いたしました！)

1. 所定の応募用紙(研究テーマ・研究計画・希望助成金額・使途概要などを記すもの)があります。2026年4月1日以降に広告学会ホームページから「2026年研究プロジェクト」の応募用紙をダウンロードしてください(古い応募用紙を使わないでください)。それが不可能な場合は、研究プロジェクト委員会事務局にメールにてご請求ください。
2. 応募用紙は下記、研究プロジェクト委員会事務局宛てに、メール添付にてご提出ください。  
jaa.recr@gmail.com  
日本広告学会研究プロジェクト委員会事務局(大阪経済大学情報社会学部 弦間研究室内)  
学会ホームページ URL [www.jaaweb.jp](http://www.jaaweb.jp)
3. 応募締切日: 2026年6月30日(火) (当日メール必着)

## 採択計画

1. 研究助成予算の総額は、自由課題、スタート30およびスタート10を合わせて100万円を目安とします。応募状況および応募内容によって、全体で100万円を超える助成をおこなう場合もあります。
2. 採択は、「若手研究者グループ」(メンバー全員が2026年4月1日現在で40歳以下)を優先的に取り扱います。また、自由課題が2件採択される場合には、1件は「重点課題」の研究を優先的に取り扱います。
3. 「1年間研究」と「2年間研究」の選考基準は同一です(研究期間別に採択件数を割り当てることはいたしません)。
4. 申請された応募は、7～8月に研究プロジェクト委員会で選考し、9月の常任理事会において最終決定の上、研究代表者に採否を連絡します。

## 留意事項

1. 選考・採択にあたり、研究計画等について補足説明を提出していただくことがあります。
2. 研究プロジェクトメンバーの義務(成果報告、精算報告書作成等)が守られない場合、助成金の全額、または一部の返却を求めることがあります。

## 重点課題

### 広告コンクールに学ぶ広告のあるべき姿

消費者の広告忌避現象、広告詐欺事件など、昨今の広告をめぐる話題はネガティブなものが多く、広告という言葉自体に対する消費者・生活者のイメージも悪化の一途を辿っているように思われます。こうした状況を背景に、広告関連業界、広告関連学会でも広告の定義を問い直す機運が高まっています。私たちの社会に必要な制度・行為としての広告とは何であり、何ではないのか、どうあるべきであり、どうあるべきではないのか。

こうした問題への一つのアプローチとして、国内外で開催されているさまざまな広告コンクールにおける評価のあり方やそこで高く評価される作品の特徴などを議論することは有効であると思われます。それは、広告コンクールが、優れた広告作品を選び称えるだけでなく、それを広く世に知らしめることを目的としているからです。つまり、そこで顕彰される作品は、単なる広告主のコミュニケーションの道具ではなく、その受け手や社会にとっても価値あるものでなければならないはずです。代表的・特徴的な広告コンクールの主催者や審査員を交えて、どのような広告が評価されるべきなのかを議論することで、広告のあるべき姿を探っていきたいと考えています。



日本広告学会 御中

2026年 日本広告学会自由課題研究プロジェクトに応募するため以下の通り申請します。

2026年 月 日(申請日)

1) 研究プロジェクト・メンバー

(注) 個人正会員、名誉会員以外の方をメンバーに含める場合には、その所属機関での身分(研究組織での教授・准教授・大学院後期課程在学中など、あるいは所属企業・団体での部署・役職など)を書き添えてください。なお、非会員のメンバーは今年の第57回全国大会までに個人正会員として入会していただきます。また、年齢は2026年4月1日現在でご記入ください。

代表者: 氏名 押印省略 (年齢 満 歳)

自宅住所 〒

電話( ) — /FAX ( ) —

e-mail:

所属機関名称

住所 〒

電話( ) — /FAX ( ) —

メンバー: 氏名 (年齢 満 歳)

自宅住所 〒

電話( ) — /FAX ( ) —

e-mail:

所属機関名称

住所 〒

電話( ) — /FAX ( ) —

メンバー: 氏名 (年齢 満 歳)

自宅住所 〒

電話( ) — /FAX ( ) —

e-mail:

所属機関名称

住所 〒

電話( ) — /FAX ( ) —

お願い: 応募用紙の1ページ分に記入しきれない場合には、この用紙をコピーして書いてください。

2) 研究プロジェクトのタイプ選択(該当する項目番号をそれぞれ○でかこんでください。)

(1)「1年間研究」・「2年間研究」のどちらで応募されますか。

1. 「1年間研究」として応募する。
2. 「2年間研究」として応募する。

(2)「重点課題」として応募されますか。

1. 「重点課題」として応募する。
2. 「重点課題」として応募しない。

(3)「若手研究者グループ」として応募されますか。(「若手研究者」の範囲については募集案内の採択計画2をご覧ください)

1. 「若手研究者グループ」として応募する。
2. 「若手研究者グループ」として応募しない。

3)研究題目(テーマ)

4)研究の目的および学術的独自性と創造性(400字程度で簡潔に書いてください。)

5)研究の着想に至った経緯や関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ  
(400字程度で簡潔に書いてください。)

6) 広告実務や広告接触(視聴)を始めとするビジネス面、もしくは社会的・人文的な意義からのリサーチクエスチョン  
(400字程度で簡潔に書いてください。)

7) 研究計画 (1,200字程度で研究方法を含めて具体的に書いてください。)

お願い: 応募用紙に記入しきれない場合には、別紙を追加してください。

## 8) 助成希望金額と使途概要

### (1) 希望助成金額

合計金額 円

### (2) 使途概要

(注) 1. 年度ごと、主要項目別に支出計画額を記入してください。(1年間研究の場合は2026年度のみ)

2. 旅費交通費・文献費・備品購入費いずれの費目も助成金総額の2分の1以下となるようにしてください。この基準を上回る場合は、その理由を明記してください。
3. 調査を実施する場合は、調査経費の主な内訳(データ収集費、分析費、回答者への謝礼など)も記入してください。調査の一部として調査会社等を利用し、その額が20万円を超える場合は、その調査会社等の見積書を添付してください。分析全体を「丸投げ」するような費用計画は認められませんので、ご注意ください。
4. 学会参加のための旅費交通費に充当することはご遠慮ください。

(2026 学会年度)

| 支出費目       | 支出事項 | 金額(円) |
|------------|------|-------|
| 備品購入費      |      |       |
| 旅費交通費      |      |       |
| 文献費        |      |       |
| 調査費—データ収集費 |      |       |
| 同 —分析費     |      |       |
| 同 —謝礼      |      |       |
|            |      |       |
|            |      |       |
|            |      |       |
| 合計         |      |       |

(2027 学会年度)

| 支出費目       | 支出事項 | 金額(円) |
|------------|------|-------|
| 備品購入費      |      |       |
| 旅費交通費      |      |       |
| 文献費        |      |       |
| 調査費—データ収集費 |      |       |
| 同 —分析費     |      |       |
| 同 —謝礼      |      |       |
|            |      |       |
|            |      |       |
|            |      |       |
| 合計         |      |       |

お願い: 上記の表に記入しきれない場合には、行を追加してください。

- (3) 本研究プロジェクトに関連する研究テーマで、他の機関等からの研究助成をすでに受給している、または申請中の場合、受給または申請の概要を明記してください。日本広告学会の部会から研究助成を受けている場合も、その旨をお知らせください。